

第2次対馬市環境基本計画

『つしま地域循環・共生プラン』

森・川・里・海・まち・ひと・しごとの好循環と
豊かな共生社会を次世代に引き継ごう！



はじめに

■計画をつくる意義 ～なぜ環境基本計画を作るの？～

第1次対馬市環境基本計画では、2023(R5)年までに実現したい対馬の森・川・里・海・まち・ひとの姿（ビジョン）を市民目線で描き、様々な施策を展開しました。第2次対馬市環境基本計画では、世の中の動向やこれまでの10年間の成果や現状、課題を踏まえ、あるべき姿や今後優先して取り組む施策を整理します。

策定目的①：
環境基本条例の理念の実現

環境基本計画は、人とツシマヤマネコをはじめとする野生動植物との共生を目指し、現在及び将来の市民が健康で文化的な生活を確保することを目的として、環境基本条例に掲げる基本理念の実現への目標と総合的な施策の方針及び、総合的かつ計画的な施策推進に向けて必要な事項を定めるために策定します。

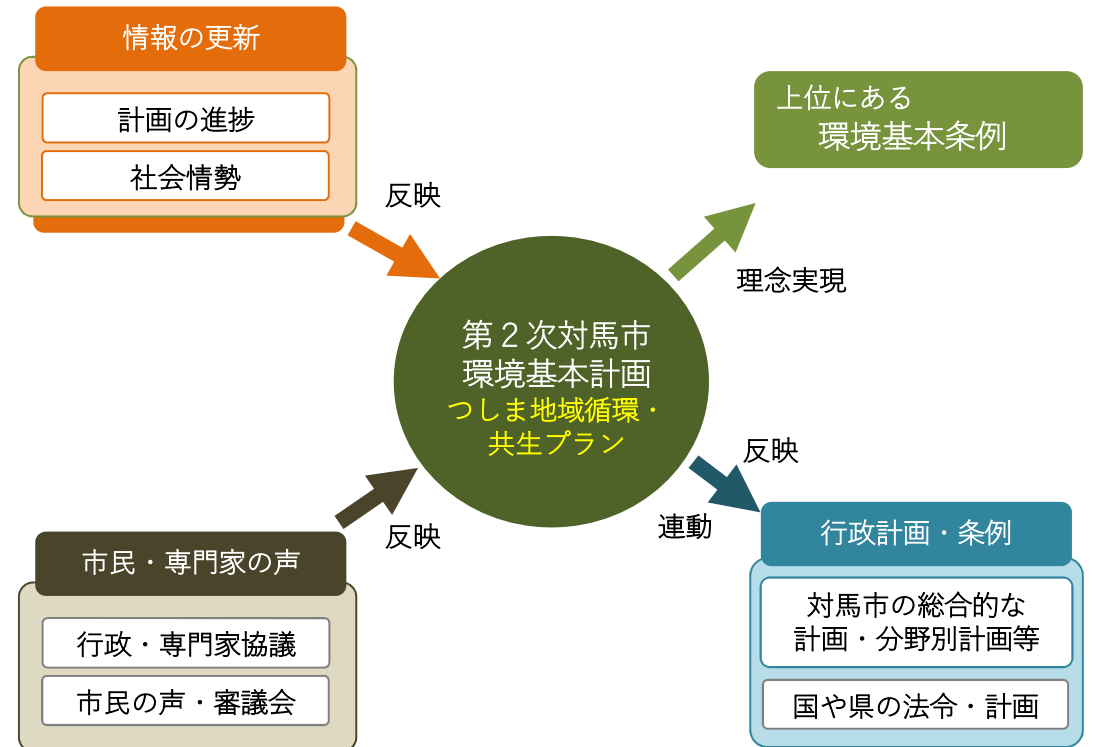
策定目的②：
行政職員や市民・事業者の道標

計画は、行政と市民が同じ目標に向かって力をあわせて行動をおこすための道標です。市職員は、環境基本計画に沿って、制度や施策、各種事業を設計し、市民や島内外の事業者等と連携して、環境保全と創造に資する取組みを推進していきます。



■計画の位置づけと策定方法

環境基本計画は、対馬市環境基本条例の施行のための具体的な施策を示したものであり、対馬市の各種計画と整合性のある環境分野の計画です。第1次計画の進捗や社会情勢、国の法令や長崎県の計画も踏まえて、市民や専門家、行政職員の声をもとに作成しました。



対馬の目指すべき姿

■対馬市のビジョン

自立と循環の宝の島 対馬

第2次対馬市総合計画では、「自立と循環の宝の島 対馬」をビジョンとして掲げ、ひとづくり、なりわいづくり、つながりづくり及びふるさとづくりの4つの挑戦に取り組んでいます。本計画では、この4つの挑戦に貢献すべく、環境基本条例に基づき、「環境保全と創造」の切り口から総合的な計画・施策を記載します。



対馬のあるべき姿

みんなが主役になる希望の島

若者を中心に対馬がにぎわっている
未来を創る子どもたちに対馬愛が育まれている
対馬の大人たちが対馬に誇りを持っている

対馬のあるべき姿

地域経済が潤い続ける島

一次産業が持続可能な形で続けられている
観光産業等で地域経済が活性化している
新産業が作られ、雇用も多く確保できている

対馬のあるべき姿

支え合いで自立した島

地域主導の活動が進められている
福祉・医療体制が維持され、安心して暮らせる
暮らしのライフラインが維持されている

対馬のあるべき姿

自然と暮らしが共存する島

豊かな自然環境が回復している
環境に負荷をかけない暮らしをしている
地域の資源をうまく活用している

実現に貢献

第2次対馬市環境基本計画

自然資本UPの仕組みをつくる！

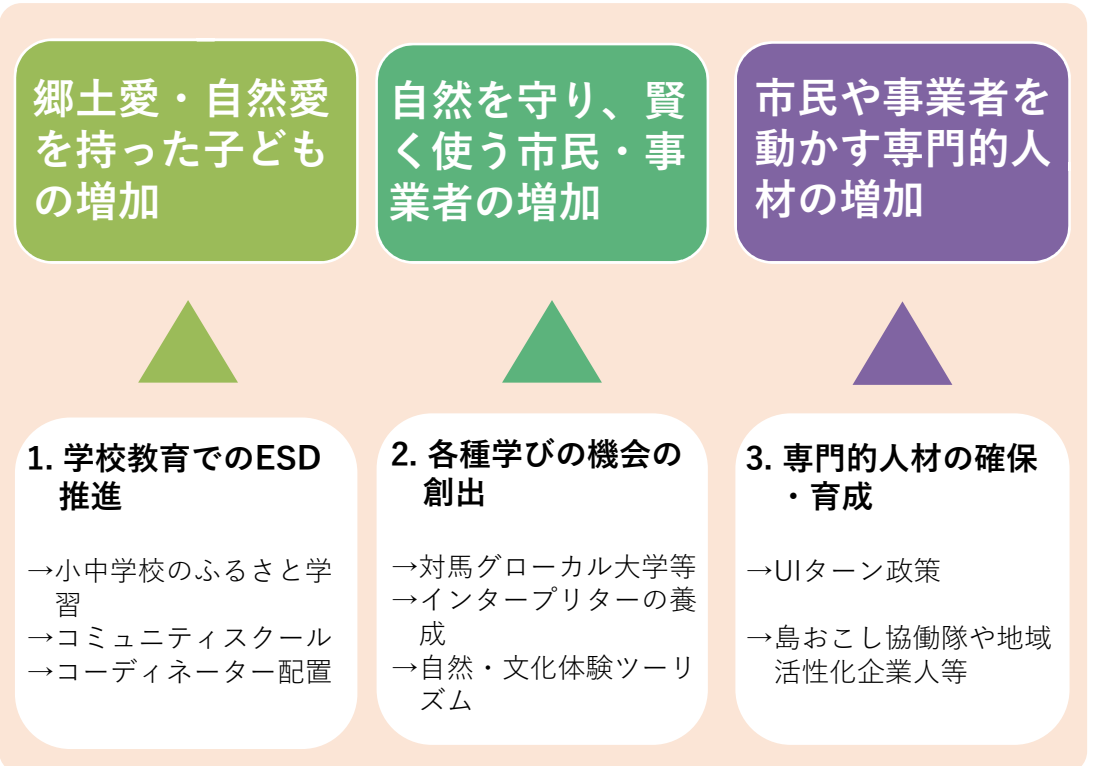
森・川・里・海・まちの繋がりを再構築することで、生態系の回復力が発揮され、自然資本が高くなります。生態系の回復力を超えた社会・経済活動は持続可能ではありません。自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力あるしまづくり（グリーンインフラ）を包括的に進めていきます。

自然資本の再生と持続可能な利用を推進するために、10のテーマ・課題について、優先的に取り組むべき施策を整理しています。



意識改革と行動変容の仕組みをつくる！

対馬のビジョン実現への「根っこの課題」は、環境保全をはじめとする持続可能な社会に向けた市民や事業者等の**意識改革と行動変容**にあると考えられます。本計画では、次世代を担う子どもたちにとどまらず、大人たちへのESD(持続可能な開発のための教育)の推進により、市民や事業者、行政職員などの意識改革と行動変容を促すことを重要課題として掲げます。



ビジョン実現への施策の取組状況

森

5-1-(1) 多面的機能を発揮できる森林づくりの推進



総合計画等で記載された施策		実施事業名	事業内容	事業の実施状況と評価	
				令和4年度実績	令和5年度計画
適切な保育と施業の実施及び主伐後の再造林の推進	なりわい 1-2-2-①	森林整備計画の改定	市伐採ガイドライン及び森林整備計画に準じて、地域における適切な森林整備を推進する。	令和4年4月1日付で森林整備計画を改定	市伐採ガイドライン及び市森林づくり基本計画の改定
		対馬流域森林整備推進協定	国、県、市、林業公社、森林組合の5者協定による連携した森林整備を推進する。	推進協定運営会議実施	推進協定運営会議の開催(1回)
森林環境譲与税の有効活用	なりわい 1-2-2-③	対馬市森林環境譲与税活用事業補助金	森林環境譲与税を財源として、適正な森林環境整備を促すために補助金を交付する。	再造林4.30ha 防鹿ネット施工4,220m 防鹿ネット補修0m 未利用材活用18,552t 森林作業道補修36,882m	再造林8.00ha 防鹿ネット施工3,250m 防鹿ネット補修5,000m 未利用材活用20,000t 森林作業道補修33,000m
林業やしいたけ原木による森林への影響や里海への環境影響評価とモニタリングの実施	ふるさと 1-1-2-⑨	—	—	—	—
広葉樹の森林保全と持続可能な利用に資する取組みへの支援	ふるさと 1-1-2-⑧	—	—	—	—
市営林の適切な管理と活用、保全	なりわい 1-2-2-④	オフセット・クレジット提案事業	市営林の間伐地域での二酸化炭素吸収量をクレジット化し、その売却収入を基金へ積立てて市独自の施策を展開する。	J-クレジット販売数量 170t-CO2	J-クレジット販売数量 23t-CO2
		市営林整備事業	「対馬市市営林森林経営委託」に基づき、利用間伐を主体とした計画的な森林整備を推進する。また、併せて市営林の主伐・再造林を図る。	間伐面積33.5ha (8か所)	間伐面積51.6ha (6か所) 主伐・再造林面積9.8ha (2か所)



総合計画等で記載された施策		実施事業名	事業内容	事業の実施状況と評価	
				令和4年度実績	令和5年度計画
有害鳥獣の捕獲報奨金の継続及びハンター・罾捕獲従事者の育成支援	ふるさと1-1-2-②	ながさき鳥獣被害防止総合対策事業	捕獲報奨金を交付する。(猪・鹿) 成獣:10千円/頭 幼獣:9千円/頭	猪:2,827頭 鹿:10,379頭	猪:6,000頭 鹿:10,000頭
		対馬猪鹿活用促進事業	捕獲技術向上及び捕獲者のモラルアップ研修を年1回実施する。	年1回実施 (厳原、豊玉、上島の3会場で実施)	年1回実施
		対馬市有害鳥獣被害防止対策事業	地区捕獲隊を促進するために、捕獲隊推進補助金を交付する。 (猪・鹿:2千円/頭)	2地区捕獲隊結成 12頭捕獲	1地区捕獲隊結成 年10頭捕獲
搬送・流通体制の整備と加工製品の販路拡大	ふるさと1-1-2-⑤	対馬猪鹿活用促進事業	搬送は業者に委託し、加志の加工場で解体、食肉加工を実施する。 島内小売店や学校給食への提供による販路を拡大する。	島内小売店、学校給食への提供	加志の加工施設閉鎖までの間、給食への提供
獣肉加工や皮革製品等加工品に関する各種支援	ふるさと1-1-2-⑥	対馬猪鹿活用促進事業	捕獲された猪・鹿を肉・革として資源活用する事で、多様な方が被害対策に関わるきっかけを作る。	捕獲隊数=2地区 地区学習会開催=3地区	捕獲隊数=1地区 地区学習会開催=3地区
		対馬猪鹿活用促進事業	獣害から獣財へを体感できる教育活動として、島内小中学校の総合的学習等で、猪・鹿の被害状況、対策、歴史を学び、肉や革を使った実習を行う事で、ネガティブな問題をポジティブにとらえ、対馬の様々な問題に向き合い解決できる子供たちを育成する。	猪・鹿肉を学校給食で定期的 に活用	猪・鹿肉を学校給食で定期的 に活用
		対馬猪鹿活用促進事業	食べる事から被害対策にかかわる人を増やすためにも、手に取りやすい加工品を開発する。	試作はしたが商品化できず	1種類

総合計画等で記載された施策		実施事業名	事業内容	事業の実施状況と評価	
				令和4年度実績	令和5年度計画
集落営農や有害鳥獣対策の捕獲隊等の一次産業や加工業等の従事者への支援検討	ひと 1-2-3-④	雇用機会拡充支援事業(国庫)	対馬市猪鹿加工処理施設の終了後に民間施設が新たに運営を開始する。		令和6年4月の開業に向けた整備、雇用者の確保
モデル地区での支援の充実及び生態系被害エリアでの防護・捕獲	ふるさと 1-1-2-③	対馬市有害鳥獣被害防止対策事業	捕獲報奨金を交付する。(猪・鹿:9千円/頭)	21地区捕獲頭数 年間238頭捕獲	1地区当たり捕獲頭数 年間20頭目標
GIS等を活用した情報の一元化、個体数や被害状況、植生のモニタリングの実施	ふるさと 1-1-2-④	対馬猪鹿活用促進事業	地域ぐるみでの被害対策を促進するために、被害箇所、防護柵設置状況、捕獲情報を航空写真上に可視化し、地区にあった被害対策の方法を住民同士で話し合える場づくりをする。	3地区相談会開催	被害、捕獲情報等の収集、解析 地区学習会を4地区開催
多様な主体の連携と情報共有	ふるさと 1-1-2-⑦	環境省主体	対馬ニホンジカ対策戦略会議 環境省、林野庁、長崎県、大学等において情報共有を行い、対策を講じる。	年数回のワーキング会議、戦略会議の実施	年数回のワーキング会議、戦略会議の実施





総合計画等で記載された施策		実施事業名	事業内容	事業の実施状況と評価	
				令和4年度実績	令和5年度計画
生物多様性の高い保護すべき地域における希少生物の保護や森林再生活動の実施	ふるさと 1-1-1-⑥	舟志の森づくり	ツシマヤマネコをはじめとする対馬の生物多様性保全に配慮した森づくりを推進する。	自然観察会1回	自然観察会1回
		希少植物保全事業	希少植物の保全活動を実施する。	植生保護区1か所	植生保護区6か所の維持管理
自然共生社会に向けた土地利用の検討とゾーニングの検討	ふるさと 1-1-3-③	希少植物保全事業	希少植物の保全場所を特定するために島おこし協働隊(生物多様性保全担当)を登用し、ゾーニングを行う。	優先対策地域における被害対策(シカ捕獲)実施	優先対策地域における被害対策(シカ捕獲)実施
特定外来生物(ツマアカスズメバチ等)の駆除と普及啓発	ふるさと 1-1-1-④	外来種ツマアカスズメバチ駆除事業	外来種ツマアカスズメバチの駆除を実施する。	巣駆除60個 薬剤防除ベイト剤500個設置	巣駆除50個 薬剤防除ベイト剤500個設置
ツシマヤマネコ等の交通事故防止に関する地域での啓発活動	ふるさと 1-1-1-①	ツシマヤマネコ交通事故対策	ツシマヤマネコ交通事故防止を呼びかけるキャンペーンを実施する。	路上キャンペーン8回	路上キャンペーン7回
		野生動物交通事故防止事業	道路の暗渠(カルバート)を利用して野生動物の移動経路を確保し、交通事故を防止する。	改修工事箇所 ¹ の維持管理	改修工事箇所 ¹ の維持管理 路面標示工事、啓発物作成
希少種保全に貢献する環境配慮型の農林産物のブランド化・PR支援	ふるさと 1-1-1-⑦	ツシマヤマネコ米ブランド化・PR支援	ヤマネコに優しい環境配慮型農法による米づくりブランド化・PR支援を行う。	ツシマヤマネコ米のブランド化・PR支援	ツシマヤマネコ米のブランド化・PR支援
全国の動物園等と連携したPR活動	ふるさと 1-1-1-②	ツシマヤマネコ普及啓発事業	全国のツシマヤマネコ飼育施設における啓発イベントを実施する。	啓発イベント3回	啓発イベント3回
対馬版レッドリストの作成と生物多様性つしま戦略の策定	—	—	—	—	—
外来種に関する市民への普及啓発	—	—	—	外来種対策(ツマアカスズメバチ防除活動)の情報発信 CATV放送3回、市報掲載2回	外来種対策(ツマアカスズメバチ防除活動)の情報発信 CATV放送3回、市報掲載2回



総合計画等で記載された施策		実施事業名	事業内容	事業の実施状況と評価	
				令和4年度実績	令和5年度計画
農業の担い手育成と確保(新規就農、兼業・副業での農業参入、集落営農等への支援)	なりわい 1-2-1-⑧	認定新規就農者の確保	新規就農希望者に対し、地域の担い手となる認定新規就農者への加入推進を行う。	1名加入	加入推進
耕作放棄地や所有者不在農地の有効活用の推進	なりわい 1-2-1-①	農地中間管理事業	農地の集積・配分を推進する。	13地区 26.7ha	12地区 20ha
		中山間地域等直接支払交付金事業	農業生産の不利な地域で、集落単位で協定を定め、それに従い農業生産活動等を行う場合面積に応じ一定額を交付する。	23地区 320.8ha	23地区 320.8ha
環境に配慮して生産した製品の増加と情報発信、協力事業者の発掘	なりわい 3-1-1-⑤	—	—	—	—
(環境配慮型の)農業生産活動への支援	なりわい 1-2-1-②	農業生産活動に係る支援の検討・実施	農業生産活動に係る支援を検討し、実施する。	ながさき型スマート産地確立支援事業を実施(ゆず苗663本、支柱650本補助)	検討・実施
有害鳥獣対策(防護、捕獲、利活用)による農地の管理と保全	なりわい 1-2-1-⑥	—	—	—	—
みどりの食料システム戦略に従った有機農業やスマート農業の導入検討	—	—	—	—	—

総合計画等で記載された施策		実施事業名	事業内容	事業の実施状況と評価	
				令和4年度実績	令和5年度計画
藻場再生に資する活動 や実験の推進	ふるさと 1-2-3-②	離島漁業再生支援交 付金事業 水産多面的機能発揮 対策事業	離島漁業再生支援交付金事業及び水産多面的機能発揮対策事業等において、藻場再生活動や実験の推進を行う。	藻場再生活動の実施組織数 16組織	藻場再生活動の実施組織数 16組織
食害生物の捕獲の推進 と有効活用の検討	ふるさと 1-2-3-①	(有効活用の検討) 未利用魚等流通促進 支援事業	(有効活用の検討) 未利用魚等を活用した商品開発や販路拡大に取り組み水産加工業者に対して支援を行い、新たな水産資源の掘り起こしと生産・販売力の拡大を図る。	33.4トン(アイゴ・イスズミ)	利活用された未利用魚の数量 (30トン)
大学や漁業者と連携した 魚種・海藻類の資源量調査	ふるさと 1-2-2-③	水産資源量調査	魚種、海藻類の資源量調査を実施する。	魚種、海藻類の資源量調査実施 1回	魚種、海藻類の資源量調査実施 1回
漁業者や活動組織間の 連携・情報共有	ふるさと 1-2-3-③	磯焼け対策研修会	漁業者等を対象とした磯焼け対策に関する学習会を開催する。	コロナ禍のため開催なし	磯焼け対策研修会の開催 1回
モニタリングや調査、栽 培等を行う専門的な人材 の確保や研究機関との 連携	—	—	—	—	—



総合計画等で記載された施策		実施事業名	事業内容	事業の実施状況と評価	
				令和4年度実績	令和5年度計画
しまうみ管理計画に基づく水産資源の管理	ふるさと 1-2-2-②	しまうみ管理計画の管理と取組のPR	海洋保護区設定推進協議会にて承認を得た各種計画の取組内容、実績等を対馬市HPにてPRを行う。	対馬市HPにてPR 1回	対馬市HPにてPR 1回
水産業・漁村の多面的機能の効果的・効率的な発揮に資する地域の取組への支援	なりわい 1-1-1-②	水産多面的発揮対策事業	環境・生態系の維持・回復や安心して活動できる海域の確保など、漁業者等が行う水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する地域の活動を支援する。	藻場の増加率:25% 環境異変等の通報件数:538件	藻場の増加(対前年比5%以上) 環境異変等の通報件数の増加
対馬での取組や資源管理の重要性についての島内外への啓発活動	ふるさと 1-2-1-④	対馬の海の重要性について啓発活動	対馬での取組や保護区設定の重要性についての島内外への啓発活動等を行う。	各種イベント等でのPR 1回	CATVでPR活動放映 各種イベントへの参加 年1回
大学等との連携による資源量や環境モニタリングの手法の確立	ふるさと 1-2-2-⑤	環境モニタリングの手法の確立	九州大学と連携し、調査研究を行う。	藻場環境調査研究委託 一式	藻場環境調査研究委託 一式
海域利用者や陸域(農林業)との協力体制の構築	ふるさと 1-2-1-③	海洋保護区設定推進協議会	漁業者、漁協、行政等で構成する協議会で、対馬版海洋保護区の設定に向けた協議・検討を行う。海洋保護区設定推進協議会による検討、沿岸から沖合までの海洋生態系の保全に関する検討、陸域(農林業)や海域利用者の協力体制の構築する。	協議会の開催 1回	協議会の開催 1回



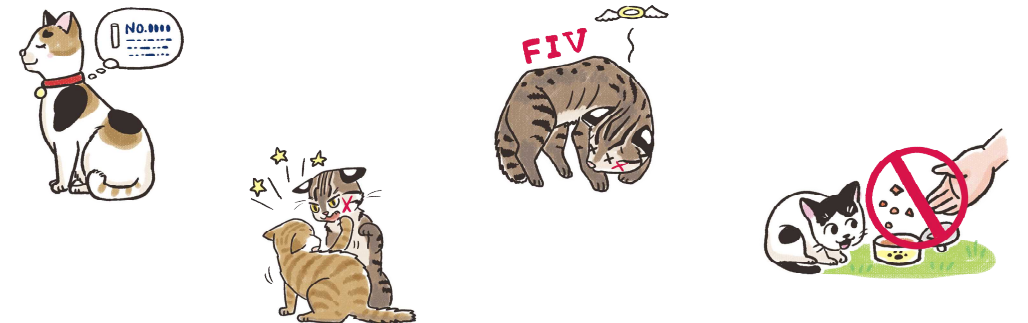
総合計画等で記載された施策		実施事業名	事業内容	事業の実施状況と評価	
				令和4年度実績	令和5年度計画
漁業関係者とボランティアによる漂流ごみの回収清掃活動の実施	ふるさと 2-1-3-③	海岸清掃ボランティア	各事業の清掃ボランティアの募集、自主ボランティアによる海岸清掃活動への支援を実施する。	ボランティア人数 1,312名 (55件)	ボランティア人数 600名
		海岸漂着物等地域対策推進事業	漁協への回収業務委託。回収された漂着ごみの運搬・処分を行う。	回収量 8,989m ³	回収量 9,200m ³
企業等との連携・誘致による回収したごみの資源化・研究開発	ふるさと 2-1-3-⑦	企業との連携	資源化に協力してくれる企業を増やす。	1企業と契約	新規2企業と契約
		SDGsスタディツアー	SDGsスタディツアーを通じた協力企業を開拓する。	4回実施(関西経済同友会、ア スクール、ブルーオーシャンイニシ アチブ2回)	スタディツアーの誘致 2回
海ごみ(発砲スチロールや大型ゴミ)のマテリアルやサーマルとしての利用	ふるさと 2-1-3-⑥	漂着ごみリサイクル推進事業	回収された漂流漂着ごみのリサイクル化と適正な処理を実施するため、漂着ごみ前処理施設において、発砲スチロールのペレット化と硬質プラスチックの破碎を行う。	ごみ処理経費の削減に効果があった	ペレット化等によるごみ処理経費の削減及びリサイクル商品の拡大
海ごみ(流木等)の島内処分と活用	ふるさと 2-1-3-⑤	漂着ごみ(木くず等)の島内処理	木くず等の可燃系の漂着ごみの島内焼却処理を実施し、漂着ごみ処理経費の削減を図る。	処理量 718t	処理量 700t
大学等と連携した全島のごみの量の把握と効率的な回収方法の検討	ふるさと 2-1-3-⑩	—	—	—	—
海ごみをテーマにした国際サミット(韓国・中国・台湾・インドネシア等)の開催検討	ふるさと 2-1-3-⑨	—	今後開催を検討する。	—	韓国の関連団体にアプローチする。

総合計画等で記載された施策		実施事業名	事業内容	事業の実施状況と評価	
				令和4年度実績	令和5年度計画
日韓海岸清掃イベントやシンポジウムの企画と実施	ふるさと 2-1-3-④	ビーチクリーンアップ事業	日韓海岸清掃事業を継続して実施する。	コロナ禍によりワークショップのみ開催	年1回実施
	—	シンポジウム事業	シンポジウムを企画し開催する。	—	海ごみシンポジウムを企画し開催する。
対馬市海岸漂着物対策推進協議会の開催・運営	ふるさと 2-1-3-②	海岸漂着物等地域対策推進事業	中間支援組織(対馬CAPP)に委託し海岸漂着物対策推進協議会を中心に清掃場所の住み分けについて協議する。	3回実施	年3回実施
海ごみの資源化に向けた研究センターの設立・誘致の検討	—	—	—	—	関西経済同友会関連企業と協議開始
企業版ふるさと納税等を活用した活動資金の調達	—	企業版ふるさと納税活用事業	海岸漂着物等地域対策推進事業に活用する。	3企業 寄付額4,327千円	寄付額5,000千円



総合計画等で記載された施策		実施事業名	事業内容	事業の実施状況と評価	
				令和4年度実績	令和5年度計画
ごみのポイ捨てや不法投棄に対する啓発(警察や保健所との連携、CATV等の活用)	ふるさと 2-1-1-①	環境月間における不法投棄等監視合同パトロール	6月の環境月間に関係機関が連携して不法投棄等監視合同パトロールを実施し不法投棄の未然防止と早期発見及び県民に不法投棄防止の啓発を行う。【県・市・警察・海上保安部】	6月に各地区(旧町)ごとに実施	6月の環境月間に実施
		不法投棄防止の啓発	CATVで不法投棄防止の啓発を行う。	1回実施	年1回以上
生ごみの分別と回収率を上げるための仕組みの検討(市民のインセンティブの創出)	ふるさと 2-1-2-①	生ごみ等資源再利用システム事業	協力世帯の募集を行い、生ごみと廃食用油の分別回収、堆肥化に向けた取り組みを行う。	協力世帯数 2,207世帯	協力世帯数 2,640世帯
4Rの推進(マイボトル・マイバッグ等使用の推奨、地域主催のフリーマーケット開催の推進)	ふるさと 2-1-1-③	生ごみ等資源再利用システム事業	生ごみ等の分別回収協力世帯を増やし、更なるごみの減量化と資源(堆肥)化を図る。	協力世帯数 2,207世帯	協力世帯数 2,640世帯
不法投棄の監視と見回り対策	つながり 3-1-2-③	海ごみ発生抑制事業	海ごみ発生抑制としてパトロールを実施する。	パトロールの実施及びごみの回収	パトロールの実施及びごみの回収
県道・市道でのボランティア清掃の実施支援	ふるさと 2-1-1-②	ボランティアによる清掃活動への支援	ボランティア申請のあった個人・団体等に対して、ごみ袋の無償配付及びごみ処理手数料の免除措置を実施する。	ごみ袋の無償配付 ごみ処理手数料の免除	ボランティアへの支援
生ごみ処理器を設置する家庭に対する補助	ふるさと 2-1-2-③	生ごみ処理器設置補助金	市内において家庭用の生ごみ処理器を設置する者に対して補助金を交付する。	設置台数 7台	設置台数 22台
廃棄物処理施設の維持・管理	ふるさと 2-1-2-②	廃棄物処理施設の運転管理業務等委託	廃棄物処理施設の運転管理、施設年次点検補修等の各種業務の発注、契約及び履行確認を行う。	執行済み	発注、契約及び履行確認
プラスチックごみの分別に関する協議	—	—	—		—

総合計画等で記載された施策		実施事業名	事業内容	事業の実施状況と評価	
				令和4年度実績	令和5年度計画
ネコの適正飼養の推進	ふるさと1-1-1-③	ネコ適正飼養推進事業	飼いネコの適正飼養推進及びノラネコの不妊化を推進する。	ノラネコ不妊1地区 過去にノラネコ不妊を実施した11地区のフォローアップ	啓発イベント1回 ノラネコ不妊1地区 過去にノラネコ不妊を実施した12地区のフォローアップ
条例の市民認知度向上に向けた普及啓発(飼い主登録率及び不妊化率向上等)	—	—	—	全地区ネコ飼養状況アンケート調査実施 市民1000人アンケート調査実施 犬猫遺棄防止チラシの配布(全地区回覧) 対馬市CATV「教えて市役所さん」にて条例紹介	対馬市CATV「教えて市役所さん」にて条例紹介
飼いネコの完全室内飼育の推進	—	—	—	不適正飼養の現場確認、注意指導(33件)	不適正飼養の現場確認、注意指導



総合計画等で記載された施策		実施事業名	事業内容	事業の実施状況と評価	
				令和4年度実績	令和5年度計画
再生可能エネルギーの導入検討(洋上風力発電の導入に向けた調査等)	ふるさと 2-2-3-①	浮体式洋上風力発電による地域の脱炭素化ビジネス促進事業委託業務	①浮体式洋上風力発電によるエネルギーの地産地消を目指すにあたって必要な各種調査(海域調査・風況調査)を実施する。 ②対馬市における事業性・二酸化炭素削減効果の見通しなどの検討を行う。	・調査選定箇所 1か所(上対馬沖) ・海域調査・風況調査の準備	・海域調査・風況調査の開始
公共施設における再生可能エネルギー活用の検討	ふるさと 2-2-1-③	—	—	—	—
木質バイオマス(薪など)の島内利用の推進	ふるさと 2-2-1-①	対馬市森林環境譲与税活用事業補助金	林地残材解消のため、森林環境譲与税において未利用材の搬出に対して支援する。	未利用材搬出18,552t	未利用材搬出20,000t
木質バイオマスボイラーの導入拡大	ふるさと 2-2-1-②	湯多里ランドつしま熱エネルギーサービス事業	湯多里ランドつしまにおいて、チップボイラーを更新するとともに、民間熱エネルギー供給会社と協定を締結し、ESCO事業を開始する。	令和4年8月1日から湯多里ランドつしまにおいて、熱エネルギーサービス事業を開始した。	—
民泊(農林漁家民宿)の推進(登録軒数増加や受入体制整備等)	なりわい 2-1-2-⑥	教育旅行推進事業	民泊を活用した旅行誘致にかかる受入体制を整備する。	4回	事業者連携に向けた作業部会の開催:2回
学校給食での対馬産品の活用の推進	なりわい 2-2-1-③	地場産品地産地消推進事業	学校給食で地場産品を使用した場合1/2を補助する。(あか牛と長崎県対馬市イノシシ・シカ肉衛生管理ガイドラインにより処理された精肉及び加工品は3/4)	対馬産農林水産物使用率18.5%	学校給食において、対馬産の農林水産物を使用する割合15.0%
地域資源を活用した体験メニュー、旅行商品の開発支援	なりわい 2-1-2-③	観光コンテンツ創出事業	観光の核となる観光コンテンツの創出を図り、対馬への来島を促進する。	核となる3つのコンテンツ(歴史・自然・食)の創出・磨き上げ	ファミツアーの3回実施

総合計画等で記載された施策		実施事業名	事業内容	事業の実施状況と評価	
				令和4年度実績	令和5年度計画
観光推進にかかる対馬の魅力発信・PRと受入体制の整備	なりわい 2-1	対馬産品を活用した魅力発信事業	よりあい処つしまを拠点にLEDビジョンや対馬産品の情報発信と対馬産品のPR・販売イベントを実施する。	イベント4回、ラジオによる情報発信、フリーペーパー、サイネージ及びラッピングバス広告(1路線1台)	イベント4回、ラジオによる情報発信、フリーペーパー、サイネージ
	—	旅行社・マスメディア等対応事業	マスメディア等に対して取材対応を行うことで、対馬にとって効果的な魅力発信を行い、誘客へ繋げる。	NHK・民放各社での番組取り上げ	継続実施
インタープリターの養成、地域案内人・コーディネーターの養成	ひと 3-2-2-①	ガイド養成事業	ガイド人材の不足しているため、ガイド養成事業、ガイド用パンフレット等を作成し、新たなガイドを創出する。	一定の研修を受けたインタープリター3名創出	ガイド人材育成のOJTツアー延参加人数10名
対馬産品を取扱う島内の小売店や宿泊・飲食店への支援	なりわい 2-2-1-②	—	—	—	—
島内消費推進に向けた市民への普及啓発・PRイベントの実施	なりわい 2-2-1-①	—	—	—	—
大自然を満喫できるトレッキング等の体験メニューの拡大	なりわい 2-1-1-④	観光コンテンツ創出事業	観光の核となる観光コンテンツの創出を図り、対馬への来島を促進する。	核となる3つのコンテンツ(歴史・自然・食)の創出・磨き上げ	ファミツアーの3回実施
アドベンチャーツーリズムやスタディツアー等の推進	—	持続可能な観光地づくり推進事業	アドベンチャーツーリズムやエコツーリズムの推進により持続可能な観光地づくりを促進する。	—	アドベンチャーツーリズムの新たな商品1件の創出





総合計画等で記載された施策		実施事業名	事業内容	事業の実施状況と評価	
				令和4年度実績	令和5年度計画
全小中学校における地域の特徴を生かしたふるさと学習の展開	ひと 2-2-2-①	「ふるさと学習」の推進	全ての学校が、「ふるさと学習」の全体計画を作成し、地域の特徴を生かした学習を展開する。	全校で実施	全校で実施
コミュニティー・スクール(学校運営協議会制度)の検討	ひと 2-2-1-④	学校運営協議会の設置	各学校に学校運営協議会を設置できるよう、学校と連携し、推進していく。	小学校2校、中学校2校への説明・依頼を行い、承諾を得た。	前年度4校の設置準備、新規設置予定4校への説明・依頼
(教育またはSDGs推進)コーディネーターの確保	ひと 2及び3	SDGs推進コーディネーター事業	「SDGs推進コーディネーター」を配置し、①市民等各主体のSDGs実行支援、②学校教育や企業教育、対馬グローバル大学等を通じたSDGs推進の担い手づくりにより、SDGs行動の加速化を図る。	公募したものの、採用に至らず、配置無し。	公募実施(応募無し。※R6年度以降はSDGs研究員事業に統合)
中学校と高校の連携による教育の質の維持・向上	ひと 2-2-1-①	中高連携協議会の開催	3高校の校長、中学校校長、教育委員会で会議を実施し、総合学習等での中高連携について協議する。	本体会議0回 各高校部会2回 実施(コロナ対策のため)	本体会議1回 各高校部会3回 実施 合計4回
		域学連携地域づくり推進事業(対馬学フォーラムの開催)	地元小中学校、高校と大学生との交流を実施する。	島づくり人財育成事業 実施	SDGs人財育成事業 実施
高校生参加枠を設けた対馬グローバル大学「高校生ゼミ」の開催	ひと 2-2-1-②	域学連携地域づくり推進事業	島外学生20人、島内高校生10人を集め、短期合宿で地域おこし活動を実践する。	島づくり人財育成事業 高校生ゼミ、16名修了 大学生ゼミ14名修了	SDGs人財育成事業 対馬グローバル大学高校生ゼミ 大学生ゼミを開催
広報つしま、対馬市CATVなど多様な媒体での情報発信	ひと 2-2-1-⑦	広報つしま、「つしまる通信」での情報発信	広報つしま及びつしまる通信で、適宜高校のイベントや成果、各種案内などの情報発信を実施する。	適宜実施	適宜実施





総合計画等で記載された施策		実施事業名	事業内容	事業の実施状況と評価	
				令和4年度実績	令和5年度計画
対馬グローバル大学の開催	ひと 3-2-1-④	島づくり人財育成事業 SDGs人財育成事業(R5~)	持続可能なしまづくり(SDGs)を担う人財を育成する。	高校生ゼミ、16名修了 大学生ゼミ14名修了	対馬グローバル大学高校生ゼミ、大学生ゼミを開催
SDGs研究奨励補助制度の継続	ひと 3-1-3-①	域学連携地域づくり推進事業	大学の活力・専門性を活かし地域活性化に資するため、学生・地域双方のニーズに応じた現地活動プログラムを提供する。	島づくり人財育成事業 2人誘致	SDGs人財育成事業 2人/年の学生誘致
SDGsコーディネーターの確保	ひと 2及び3	SDGs推進コーディネーター事業	「SDGs推進コーディネーター」を配置し、①市民等各主体のSDGs実行支援、②学校教育や企業教育、対馬グローバル大学等を通じたSDGs推進の担い手づくりにより、SDGs行動の加速化を図る。	公募したものの、採用に至らず、配置無し。	公募実施(応募無し。※R6年度以降はSDGs研究員事業に統合)
対馬学フォーラムの開催・対馬SDGsプラットフォームの設置	ひと 3-1-2-①	域学連携地域づくり推進事業(対馬学フォーラムの開催)	地元小中学校、高校と大学生との交流を実施する。	島づくり人財育成事業 実施	SDGs人財育成事業 実施
	ひと 3-1-2-②	対馬SDGsプラットフォーム	対馬SDGsパートナーズの交流や情報交換等を通じて、各々の活動の活性化を図る。	10月に対馬SDGsプラットフォーム設置要綱を施行	運用(対馬SDGsパートナーズ登録数が一定数に達した状況で、コミュニケーションツール「Slack」を活用して運用開始)
インタープリターの養成、地域案内人・コーディネーターの養成	ひと 3-2-2-①	ガイド養成事業	ガイド人材の不足しているため、ガイド養成事業、ガイド用パンフレット等を作成し、新たなガイドを創出する。	一定の研修を受けたインタープリター3名創出	ガイド人材育成のOJTツアー 延参加人数10名
地域資源を活用した体験メニュー、旅行商品の開発支援	なりわい 2-1-2-③	観光コンテンツ創出事業	観光の核となる観光コンテンツの創出を図り、対馬への来島を促進する。	核となる3つのコンテンツ(歴史・自然・食)の創出・磨き上げ	ファムツアーの3回実施
大自然を満喫できるトレッキング等の体験メニューの拡大	なりわい 2-1-1-④	観光コンテンツ創出事業	観光の核となる観光コンテンツの創出を図り、対馬への来島を促進する。	核となる3つのコンテンツ(歴史・自然・食)の創出・磨き上げ	ファムツアーの3回実施
対馬博物館教育普及事業の拡充	ふるさと 3-1-2-⑤	教育普及事業	体験学習や講演会、ワークショップ、フィールドワークなどを実施する。	ワークショップ等を10回実施	ワークショップ等を10回実施

総合計画等で記載された施策		実施事業名	事業内容	事業の実施状況と評価	
				令和4年度実績	令和5年度計画
島おこし協働隊制度の拡充と展開	ひと 1-1-3-④	島おこし協働隊制度	都市出身の意欲と専門性あふれる人材を積極的に受け入れ、「島おこしの新たな担い手」＝「島おこし協働隊員」として、市長が最長3年の任期で任用する。	受入人数:3人	受入人数:7人
各種移住・定住支援の充実と展開	ひと 1-1-3-②	しま暮らし支援補助金	市外に5年以上居住し、市内へ移住した方で引き続き市内へ住み続ける意思のある方へ引っ越し支援、住宅借上支援、住宅賃貸支援、子育て世帯移住支援を助成する。	支援件数:61件 移住者実績:126名	随時支援をおこなう
大学・企業等との共同研究及び実践活動の推進	ひと 3-1-3-①	域学連携地域づくり推進事業	大学の活力・専門性を活かし地域活性化に資するため、学生・地域双方のニーズに応じた現地活動プログラムを提供する。	2人誘致	2人/年の学生誘致
	ひと 3-1-3-②		東京農業大学の食品加工に関する知見を応用し、短期的な大量生産や新たな食品加工を試みる。	東農大の研究委託実施	生産コスト抑制策検討
SDGsパートナーシップ制度等の推進	ひと 3-1-2-②	対馬SDGsプラットフォーム	対馬SDGsパートナーズの交流や情報交換等を通じて、各々の活動の活性化を図る。	10月に対馬SDGsプラットフォーム設置要綱を施行	運用(対馬SDGsパートナーズ登録数が一定数に達した状況で、コミュニケーションツール「Slack」を活用して運用開始)



計画の実行にあたって

■意識改革と行動変容への数値目標の設定

市民の意識改革と行動変容に直接関わる施策の数値目標を設定し、進捗を確認していきます。



指標 (KPI)	数値目標		達成状況	備考
	現状 (R3)	目標 (R9)	令和4年度	
1. 生ごみの循環の回収協力世帯(累計)	2,096世帯	5,000世帯	2,207世帯	新規加入世帯数 111世帯
2. 1人1日当たりごみ総排出量	1,102g	980g	1,127g	
3. 年間の海ごみ回収ボランティアの人数	317名	1,000名	1,312名	
4. 対馬SDGsパートナーズ登録数(累計)	0組	300組	44組	令和4年1月から登録開始
5. 対馬グローバル大学修了者数(累計)	77名	400名	129名	令和4年度修了者数 52名
6. 飼養登録されたネコの屋内飼養率	64%	80%	59%	

対馬市の環境指標等

1. 気象の状況

【厳原】（統計期間 上段：1991年～2020年 下段：1981年～2010年）

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均又は年合計
平均気温 (°C)	6.0 5.7	6.9 6.7	10.0 9.7	14.2 14.0	18.2 17.8	21.3 21.1	25.4 25.1	26.8 26.4	23.4 23.2	18.7 18.4	13.3 13.0	8.0 8.0	16.0 15.8
日最高気温 (°C)	9.2 8.9	10.5 10.2	13.6 13.0	18.1 17.8	22.2 21.5	24.7 24.3	28.3 27.8	30.0 29.5	26.5 26.3	22.3 22.0	17.1 16.8	11.6 11.6	19.5 19.1
日最低気温 (°C)	2.5 2.2	3.2 3.1	6.3 6.1	10.3 10.0	14.4 14.0	18.5 18.0	23.1 22.9	24.2 23.8	20.6 20.5	15.3 14.9	9.6 9.3	4.3 4.4	12.7 12.4
平均風速 (m/s)	3.3 3.3	3.2 3.3	3.3 3.2	3.3 3.3	2.9 3.0	2.6 2.6	3.2 3.2	2.9 2.7	2.8 2.8	2.8 2.8	2.8 2.9	3.1 3.1	3.0 3.0
降水量 (mm)	80.1 77.4	94.7 93.4	172.3 159.2	218.4 193.3	241.2 231.9	294.4 331.5	370.5 367.4	326.4 300.7	235.5 235.1	120.8 97.8	100.6 93.6	68.0 53.0	2302.6 2235.2
相対湿度 (%)	61 59	62 61	65 65	68 67	72 74	82 82	83 83	81 81	78 77	70 69	68 67	63 60	71 71

【美津島】（統計期間 上段：2003年～2020年 下段：2003年～2010年）

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均又は年合計
平均気温 (°C)	5.5 5.4	6.7 6.9	9.6 9.3	13.7 13.6	17.8 17.4	20.9 20.9	24.9 24.6	26.5 26.2	22.9 23.2	18.4 18.6	13.3 13.2	7.6 7.7	15.7 15.6
日最高気温 (°C)	8.1 8.1	9.7 9.9	12.9 12.5	17.3 17.2	21.6 21.0	24.1 24.1	27.9 27.6	29.5 29.3	25.8 26.1	21.5 21.7	16.3 16.3	10.4 10.7	18.8 18.7
日最低気温 (°C)	2.7 2.7	3.6 3.8	6.4 6.1	10.3 10.0	14.5 14.2	18.4 18.2	22.6 22.3	24.1 23.8	20.6 20.9	15.6 15.6	10.2 10.1	4.6 4.7	12.8 12.7
平均風速 (m/s)	4.1 4.2	3.9 4.1	3.9 4.1	3.9 4.0	3.4 3.8	3.1 3.4	3.2 3.4	3.3 3.5	3.7 3.9	3.6 3.5	3.5 3.6	4.1 4.1	3.7 3.8
降水量 (mm)	60.9 62.2	80.3 78.8	130.1 124.3	157.8 146.7	179.8 227.1	224.3 219.7	325.9 407.5	249.2 276.8	247.6 208.0	96.6 59.6	73.3 56.1	56.4 45.3	1882.2 1912.1

【鰐浦】（統計期間 上段：1995年～2020年 下段：1995年～2010年）

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均又は年合計
平均気温 (°C)	5.8 5.7	6.9 7.0	9.9 9.7	13.9 13.9	17.8 17.6	20.8 20.7	24.4 24.2	26.1 25.9	22.9 22.9	18.9 18.9	13.6 13.3	8.0 8.2	15.8 15.7
日最高気温 (°C)	8.6 8.8	10.1 10.5	13.4 13.4	17.5 17.7	21.2 21.1	23.7 23.9	27.1 27.0	28.9 28.8	25.3 25.5	21.4 21.7	16.2 16.3	10.8 11.1	18.7 18.9
日最低気温 (°C)	3.4 3.2	4.5 4.4	7.3 7.0	11.3 11.2	15.3 15.0	18.7 18.5	22.5 22.2	24.3 24.0	21.2 21.1	17.0 16.9	11.4 11.0	5.6 5.7	13.6 13.4
平均風速 (m/s)	5.8 6.0	5.4 5.5	5.2 5.4	4.9 4.8	4.3 4.3	3.9 4.1	4.1 4.1	4.2 4.3	5.0 5.1	4.8 4.7	4.8 4.8	5.7 5.7	4.8 4.9
降水量 (mm)	43.3 44.5	46.9 47.2	87.5 90.8	105.1 99.8	113.6 132.8	191.5 206.2	264.9 291.9	230.7 257.5	159.9 123.8	78.8 71.3	65.8 62.2	36.8 35.4	1434.9 1480.6

(出典：気象庁資料を基に対馬市作成)

2. 大気の状態【環境基準達成…○、未達成…×、未測定…—】

測定項目	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
二酸化硫黄 (SO ₂)	○	○	○	○	○	○
浮遊粒子状物質 (SPM)	○	○	○	○	×	×
二酸化窒素 (NO ₂)	○	○	○	○	○	○
光化学オキシダント (OX)	×	×	×	×	×	×
微小粒子状物質 (PM _{2.5})	○	○	○	○	○	○

(出典：長崎県大気環境調査結果を基に対馬市作成)

3. 水域の状況 BOD又はCOD【環境基準達成…○、未達成…×】

水域名	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
舟志川	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
佐護川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三根川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
仁田川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
佐須川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
瀬川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
佐須奈港	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
比田勝港	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
竹敷港	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
巖原港	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小茂田港	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(出典：長崎県公共水域及び地下水の水質測定結果を基に対馬市作成)

4. 人口及び世帯数（各年10月1日現在）

年次	世帯数	人口			年齢別人口			
		総数	男	女	14歳以下	15～64歳	65歳以上	年齢不詳
●H22年	13,813	34,407	16,705	17,702	4,837	19,435	10,135	0
●H27年	13,393	31,457	15,361	16,096	4,122	16,651	10,675	9
●R2年	12,681	28,502	14,060	14,442	3,311	14,166	10,989	36
R3年	12,523	27,849	13,712	14,137	3,197	13,612	11,004	36
R4年	12,456	27,271	13,417	13,854	3,036	13,195	11,004	36

●は国勢調査

(出典：国勢調査及び長崎県異動人口調査を基に対馬市作成)

5. 産業分類別人口

産業別	年次	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年	H27年	R2年
	総数		21,367	21,292	20,219	18,066	15,507	14,807
第1次産業		6,190	5,621	4,832	3,806	3,357	2,944	2,588
農業		1,235	1,005	712	667	585	511	431
林業		244	152	128	79	173	141	159
漁業		4,711	4,464	3,992	3,060	2,599	2,292	1,998
第2次産業		4,131	4,398	3,965	2,971	1,910	1,938	1,860
鉱業		52	56	51	27	9	10	18
建設業		2,637	3,084	2,963	2,411	1,391	1,374	1,358
製造業		1,442	1,258	951	533	510	554	484
第3次産業		11,043	11,263	11,419	11,266	10,223	9,910	9,384
卸売・小売業		3,710	3,568	3,577	2,708	2,991	2,621	1,750
サービス業		3,892	4,347	4,496	5,791	4,801	4,846	5,300
公務		1,956	2,020	2,046	1,800	1,729	1,739	1,631
その他		1,485	1,328	1,300	967	702	704	703
分類不能の産業		3	10	3	23	17	15	227

(出典：国勢調査)

6. 農業の状況

1) 農家数

年次	農家数(戸)		
	計	販売農家	自給的農家
2015(H27)	1,111	541	570
2020(R2)	906	362	544

(出典：農林業センサス)

2) 経営耕地のある農家の経営耕地面積

年次	経営耕地面積(ha)		
	計	販売農家	自給的農家
2015(H27)	528	432	96
2020(R2)	415	326	89

(出典：農林業センサス)

3) 耕作放棄地の状況

	合計面積(ha)	うち再生利用が可能と見込まれる農地面積	うち再生利用が困難と見込まれる農地面積
平成30年度	585.5	132.3	453.2
令和元年度	514.2	135.5	378.7
令和2年度	511.4	134.3	377.1
令和3年度	469.8	128.6	341.2
令和4年度	185.9	109.2	76.7

(出典：荒廃農地の解消及び発生状況に関する調査を基に対馬市作成)

7. 林業の状況

1) 森林面積

区分	面積	構成率
対馬の面積	70,742 h a	100.0%
林野面積	63,155 h a	89.3%
国有林	5,028 h a	7.1%
私有林	58,127 h a	82.2%
県営林	1,412 h a	2.0%
市有林	1,199 h a	1.7%
学校林	21 h a	0.1%
私有林	55,495 h a	78.4%

(出典：長崎県 対馬管内林業の概要を基に対馬市作成)

2) 林産物生産実績 (1月~12月)

年次	しいたけ		木炭 (t)	木材				合計 (m ³)
	乾しいたけ (t)	生しいたけ (t)		しいたけ原木 (m ³)	製材用素材 (m ³)	チップ材 (m ³)	その他 (m ³)	
H28	39.3	73.1	18.3	4,520	26,619	23,945	221	55,305
H29	32.1	68.0	66.7	4,820	26,021	32,784	436	64,061
H30	26.7	109.7	14.4	3,891	35,193	28,213	337	67,634
R1	23.9	52.2	24.6	2,197	37,402	35,712	0	75,311
R2	20.1	60.0	26.4	2,197	35,518	36,331	0	73,550
R3	20.0	50.0	22.1	2,913	40,608	33,553	0	77,074

(出典：長崎県 対馬管内林業の概要を基に対馬市作成)

3) 温室効果ガスの排出削減量証明 (クレジット) の取引可能量の推移

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1,164 t-CO2	1,266 t-CO2	1,251 t-CO2	1,236 t-CO2	1,211 t-CO2	1,041 t-CO2

(出典：対馬市農林しいたけ課資料)

8. 汚水処理形態別人口（各年度末）

年度	各年度末住基人口	集落排水人口	合併処理浄化槽人口	合併処理浄化槽普及率	汚水処理人口普及率
H25	33,295	270	9,261	27.8%	28.6%
H26	32,765	264	9,401	28.7%	29.5%
H27	32,135	257	9,541	29.7%	30.5%
H28	31,542	247	9,835	31.2%	32.0%
H29	31,054	238	9,995	32.2%	33.0%
H30	30,524	237	10,159	33.3%	34.1%
R1	29,976	232	10,533	35.1%	35.9%
R2	29,089	222	10,632	36.6%	37.3%
R3	28,483	217	10,921	38.3%	39.1%
R4	27,854	215	11,250	40.4%	41.2%

（出典：浄化槽等処理人口調査を基に対馬市作成）

9. ごみの排出量

年度	各年度 10.1現在 住基人口	総排出量 (t)	可燃ごみ (t)	不燃ごみ (t)	資源ごみ (t)	粗大・その 他のごみ (t)	年間ごみ 処理費用 (千円)	1人1日当 り排出量 (g/人・日)	年間1人当 り処理費用 (円/人・年)
H27	32,568	11,041	9,614	472	712	243	1,421,675	928	42,967
H28	31,943	10,860	9,462	445	711	242	1,215,220	931	38,043
H29	31,479	11,232	9,720	486	768	258	1,653,182	977	52,516
H30	31,068	11,195	9,738	485	707	265	1,840,669	987	59,246
R1	30,465	11,585	10,074	495	732	284	1,972,146	1,039	64,735
R2	29,577	12,321	9,408	699	604	1,610	1,279,962	1,141	43,276
R3	28,964	11,649	9,299	596	551	1,203	1,419,895	1,102	49,023

（出典：一般廃棄物処理実態調査を基に対馬市作成）

10. 対馬の電力需要等の状況

1) 電力需給の状況

項目	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
年間供給実績 (MWh)	175,816	172,401	166,195	166,188	168,316	161,830
最大電力負荷 (kW)	38,390	40,190	36,020	38,260	36,470	36,800
最小電力負荷 (kW)	13,628	13,750	13,350	13,750	13,800	12,170

2) 再生可能エネルギー（電気）の導入状況

受給契約容量 (kW)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
太陽光発電 (kW)	8,090	8,147	8,201	9,428	9,347	9,362
風力発電 (kW)	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
その他	—	—	—	—	—	—

(出典：九州電力(株)対馬営業所提供資料を基に対馬市作成)

11. 燃油価格の動向（各年4月現在）

1) レギュラーガソリン価格の動向

(単位:円/L)

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全国	143	146	132	150	174	168
長崎県	151	158	144	156	183	179
対馬	176	171	139	139	186	186

2) 軽油価格の動向

(単位:円/L)

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全国	122	127	113	131	154	148
長崎県	133	140	125	138	164	159
対馬	158	153	126	135	167	167

3) 灯油価格の動向

(単位:円/18L)

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全国	1,579	1,622	1,465	1,651	2,062	2,000
長崎県	1,665	1,747	1,551	1,702	2,143	2,063
対馬	2,070	2,040	1,520	1,760	2,270	2,220

(出典：長崎県原油価格高騰対策本部資料を基に対馬市作成)

12. その他の指標

1) 自動車（乗用、小型二輪、軽自動車）保有台数（各年度末）

種 類	H28	H29	H30	R1	R2
乗 用	5,778	5,849	5,902	5,769	5,721
軽自動車	16,427	16,490	16,598	16,630	16,584
小型二輪	219	213	219	218	214
計	22,424	22,552	22,719	22,617	22,519

（出典：長崎県大気環境調査結果資料）

2) 市内の低公害車（HV、PHV、EV車）導入台数

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
881台	1,009台	普 1,124 台 軽 504 台	普 1,208 台 軽 617 台	普 1,335 台 軽 750 台

（出典：長崎県税務課、対馬市税務課資料提供）

3) ツシマヤマネコ交通事故発生状況

年 度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
発 生 件 数	8	9	4	7	3	8	6
うち、死亡数	8	9	4	7	2	7	6
	オス	5	6	2	2	1	4
	メス	3	3	2	5	1	2

（出典：対馬野生動物交通事故対策連絡会議資料を基に対馬市作成）

